

1. 収支決算額

○収入決算額：158,920,682 円(予算額：153,646,000 円)
 支出決算額：37,265,043 円(予算額：40,058,000 円)

2. 事業の成果

- ・ 展示・即売事業では、消費者ニーズに合わせた市場性のある販売品目の品揃え及び新商品の紹介に努めると同時に、自主イベントの開催と各種イベントに積極的に参加し、広く地域商品の PR と販路拡大を図った。
 また、開館 20 周年記念事業として、県央地域及び県内の商品、並びに全国地場産センターの商品を一堂に介した大即売会「大じばさん展」を開催した。
- ・ 体験工房運営事業では、6 工房(計 9 回)の教室を企画開催し、163 名の方々から参加していただいた。また、県内外からの来館者に対しても、体験型による包丁研ぎ教室を通じ、地域商品の良さと「ものづくりの町」としての観光 PR 活動を行った。
- ・ 貸館事業では、産業・業種・地域を越えた各種団体・企業等への積極的な営業活動により、過去最高であった一昨年をさらに上回る、約 7,000 万円の貸館収入を計上し、事業収入の増加に大きく貢献した。

3. 実施事業

(1) 展示・即売事業

(収入決算額 71,414,266 円、支出決算額 21,372,165 円)

(収入内訳)

展示：344 小間 収入 7,250,244 円
 大じばさん展及び年末刃物特価市 小間料収入 2,390,000 円
 即売：売上 175,872,215 円 収入 61,774,022 円

【自主イベント等の内容】

イベント名称	開催期間	来場者数(名)
GW フェア	H19.5/3～6(4日間)	約 13,000
お盆フェア	H19.8/11～16(6日間)	約 7,500
大じばさん展	H19.10/6～8(3日間)	約 17,000
年末刃物特価市	H19.12/7～9(3日間)	約 10,000
観光バス昼食・立寄り	通年	約 1,000 台

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

(収入決算額 17,342,423 円、支出決算額 13,772,847 円)

展示 231 小間 収入 3,993,808 円
 即売 売上 36,138,043 円 収入 13,348,615 円

(3) 体験工房運営事業(収入決算額 87,700 円、支出決算額 216,186 円)

開催日	工房名	対象者	参加者(名)
5月 3日	カンナの使い方教室	小学校4年生以上	12
5月 4日	ワイヤーアート教室	小学校4年生以上	23
5月 4日	そば打ち体験教室	小学校4年生以上	13
8月 12日	ピース教室	小学校4年生以上	34
8月 16日	そば打ち体験教室	小学校4年生以上	17
12月 8～9日	包丁研ぎ教室	刃物を扱える方	22
12月 8～9日	竹細工工房	小学校4年生以上	42
小計			163
観光バス包丁研ぎ体験		一般	206
合計			369

(4) 貸館事業(収入決算額 70,076,293 円、支出決算額 1,903,845 円)

【会場利用状況】

・施設利用者数：259,791 名(昨年度 340,431 名)

・施設利用率：(単位：%)

	19 年度	18 年度
メッセピア		
1F:多目的大ホール	50.53	41.76
4F:大会議室	42.31	41.48
4F:特別会議室	15.95	13.22
4F:小会議室(和室)	39.54	32.57
5F:総合研修室	70.87	60.44
5F:ミーティングルーム	62.08	64.46
リサーチコア		
6F:研修室	98.19	91.95
7F:マルチメディアホール	28.46	27.59

2. 企業支援事業

1. 収支決算額

○収入決算額：28,120,265 円(予算額：27,771,000 円)
 (国補助金 1,148,000 円、県補助金 1,680,000 円、市負担金 20,466,000 円、
 OA 機器使用料 789,000 円、研修受講料 4,037,265 円)
 支出決算額：23,175,823 円(予算額：24,712,000 円)

2. 事業の成果

- ・ 景況不安定の中で地域への受注促進を推進し、67 件の成約が確定した。また、交渉継続中の案件も含め、受注斡旋件数 674 件を得ることができた。
- ・ 企業において IT を有効活用できるよう、パソコン講座(142 名参加)、企業向け IT、Web 関連講座(87 名参加)、IT 経営セミナー(47 名参加)を開催した。
- ・ 最新の企業支援情報や県央地域の新製品、注目商品をセンターホームページから情報発信した。また、IT 関連の相談では、22 事業所、延べ 48 回の相談や支援を行った。

3. 実施事業

(1) 企業支援事業(収入決算額 10,691,000 円、支出決算額 9,672,661 円)

受注促進事業

1) 企業訪問による受注促進

県外企業訪問を中心に地域企業技術を PR。受注促進と新分野開拓を推進した。

) 引合い件数

	受注斡旋(件)				引合い 件数	各種 相談
	成約	見積 依頼	対応企業 紹介	不成約		
19 年度	67	79	503	25	674	261
18 年度	77	82	516	22	697	263

) 企業との受発注打合せ件数

	地域内 (市内) 企業訪問	地域外 (県内) 企業訪問	県外企業 出張訪問	県内企業 来室 打合せ	県外企業 来室 打合せ
19 年度	455	83	137	331	121
18 年度	430	96	131	325	127

2) 販路開拓アドバイザ活動

首都圏における受発注促進事業を効率的に進めるため、2 名のアドバイザを委嘱し、展示会での販路開拓などの活動を行った。

地域産業・技術 PR 事業

各地で開催された産業技術見本市に出展。地域企業製造サンプル・新商品等を展示 PR し、受注拡大を図った。

1) 見本市への出展

出展した展示会名称	開催期間	入場者数	各種照会件数
第 11 回機械要素 技術展(東京展)	6/27~6/29	82,515	114
テクノメッセ東大阪 2007	11/7~11/8	11,230	48
テクニカルショウ ヨコハマ 2008	2/13~2/15	30,122	70
第 12 回おおた工業 フェア	2/14~2/16	7,635	58

2) 登録企業約 500 社へ向け、受発注情報「産業振興部ニュース」の発行(隔週)

3) 新聞・展示会出展者名簿への地域技術 PR 広告の掲載(日刊工業新聞に掲載)

専門家派遣事業

地域企業が抱える課題解決のため、専門家を直接企業へ派遣して助言を行った。

指導回数：48 件(24 社)、指導者数：18 名

異業種交流グループ活動支援

・グループ登録数 20 グループ

・異業種交流プラザ利用状況 187 日(303 回)

ローカル支援センター事業(県補助事業)

1) 特許ビジネス市の開催

((独)工業所有権情報・研修館、新潟県との共催)

当地域に関連する特許技術シーズを有する企業より 5 テーマの「ビジネスプラン」を発表し、地域企業とのマッチングを目的に開催した。

・開催日時 平成 19 年 11 月 15 日(木)13:30~17:00

・参加者数 44 名(38 社)

2. 企業支援事業

2) 金属と漆の融合事業

金属素材と漆との組み合わせにより和の個性を表現した製品開発を進める中で、金属と漆の剥離性などの問題解決のための基礎研究を実施した。

(2) 産業技術ネット構築事業

(収入決算額 2,433,000 円、支出決算額 2,422,778 円)

首都圏の積極性あふれる個性豊かな中小企業が出展する展示会「産業交流展 2007」に販路開拓アドバイザーと連携しながら首都圏企業に対して情報発信、ひいては新規取引先の開拓・企業間連携の実現を目的に地元企業4社とともに共同出展し、当地域の特徴的な加工サンプル及び製品を展示し、技術 PR を行った。

出展後、具体的・技術的取引へ向け、販路開拓アドバイザーと連携を取りながらフォローアップ活動を行った。

展示会名称	産業交流展 2007
会 期	平成 19 年 10 月 25 日～26 日
会 場	東京ビッグサイト
入 場 者 数	40,550 人
実 績	商談成立 3 件 見積依頼 45 件 図面検討依頼 10 件 企業紹介 47 件 その他(名刺交換等) 258 件

(3) 支援情報事業

(収入決算額 14,996,265 円、支出決算額 11,080,384 円)

パソコン講座の開催

講座種類	実施回数	参加者数	備 考
中期研修	10	69	初級総合コース 10 回
短期研修	15	71	Word 7 回、Excel 7 回、Access 1 回
受託研修	1	2	Excel 初級(三条商工会議所)
合計	26	142	

情報関連機器の貸出

貸出機器名	貸出件数	料金	備 考
パソコン	48	730,000	
プロジェクタ 他	23	59,000	撮影セット貸出 4 件含む

企業向け IT 及び Web 関連講座の開催

- 「ブログによるホームページ作成講座」
・期日:平成 19 年 5 月 22 日(火)～6 月 5 日(火) (全 5 回)
・講師:(株)インプレッシブ ・参加者 16 名
- 「デジタルカメラマニュアル撮影講座(昼の部・夜の部)」
・期日:平成 19 年 6 月 27 日(水)～29 日(金) (全 3 回)
・講師:DIGITAL PHOTO TUJI STUDIO M. 辻(辻美津夫) 氏
・参加者:昼の部 8 名・夜の部 13 名
- 「相手を惹きつけるプレゼンテーション講座」
・期日:平成 19 年 9 月 27 日(木)～10 月 18 日(木) (全 7 回)
・講師:パジュ・ブレン(株) ・参加者 11 名
- 「すぐに使える Excel 活用講座(製造業編)」
・期日:平成 20 年 2 月 5 日(火)～21 日(木) (全 6 回)
・講師:タナカビジネスブレン ・参加者 20 名
- 「すぐに使える Excel 活用講座(製造業編)」
・期日:平成 20 年 3 月 5 日(水)～17 日(月) (全 6 回)
・講師:タナカビジネスブレン ・参加者 19 名

IT 経営セミナーの開催

IT を経営に有効、効果的に取り入れている企業と IT コンサルタントから IT 経営の重要性について講演していただいた。

- ・期日:平成 19 年 11 月 5 日(月) ・参加者:47 名
- ・講師:山陽精工(株) 白川太 氏 ・ IT コーディネータ 星野雅博 氏

研修・教育用ビデオテープの貸出し

- ・貸出し件数 20 件 ・貸出し本数 84 本

メールマガジンの発行

- ・毎月 2 回 年間 24 回配信 ・3 月末メルマガ配信登録数 546 件

書籍・資料・文献等の閲覧

各種技術、情報等に関する図書や文献を収集し、資料室に整理し閲覧に供した。

三条市・燕市兼用の産業カレンダーの発行

A3 版 2,500 部、カードサイズ版 5,000 部を作成し頒布した。

2. 企業支援事業

情報ピックアップの作成

定期刊行物(新聞・雑誌・専門誌等)から企業ニーズにあった記事を拾い出し、整理分類して Web 情報システムに登録した。

ビジネス情報等の提供

センターホームページから、企業向けの支援情報、イベント、セミナー等のビジネス情報やセンター主催事業の年間スケジュールの掲載を開始した。

IT 関連の企業相談(IT サポート支援)

・相談企業 22 事業所 ・相談回数 48 回

新商品、注目商品紹介サイトの作成、公開

県央地域企業の新商品や注目商品を毎月数品紹介するサイトを作成し、公開した。

3. 技術高度化支援事業

1. 収支決算額

○収入決算額:13,006,835 円(予算額:11,316,000 円)
(内田エネルギー-科学振興財団助成金 1,200,000 円、市負担金 5,870,000 円、機械設備使用料 1,739,750 円、研修受講料 4,197,085 円)
支出決算額:10,018,824 円(予算額:10,745,000 円)

2. 事業の成果

- ・ 技術研修を 4 講座、管理者養成研修を 4 講座及び 1 研究会を開催し、延べ 188 名の参加(定員 102 名)となった。
- ・ 非鉄材料の技術研究会など、4 研究会を組織し、会員数は延べ 106 名で、合計 22 回の研究会を行った。
- ・ 知的所有権の相談を計 38 回実施し、各種講座と併せ地域企業の知的所有権活用を支援した。

3. 実施事業

(1) 企業人材育成事業(収入決算額 4,197,085 円 支出決算額 2,705,728 円)
技術研修事業

研修事業名	回数	募集人数	実績人数	開催時期
1. 金属材料基礎講座	12	20	33	5/21 ~ 8/7
2. 図面の見方・描き方入門講座	12	20	30	8/20 ~ 9/26
3. 機械設計のための力学基礎講座	12	15	21	6/7 ~ 9/13
4. プレス加工集中講座	3	15	41	11/13 ~ 11/28
合計	39	70	125	

管理者養成研修事業

事業名	回数	募集人数	実績人数	開催時期
1. 経営革新研究会	4		7	7/23 ~ 2/21
2. 生産管理基礎講座(1)	6	7	9	7/18 ~ 9/19
3. 生産管理基礎講座(2)	2	15	37	1/11 ~ 1/18
4. 意匠権出願講座	2	10	8	10/29 ~ 10/30
5. 商標出願講座	2	10	9	2/21 ~ 2/22
合計	16	42	70	

3. 技術高度化支援事業

(2) 技術支援事業(収入決算額 5,084,750 円 支出決算額 3,708,136 円)

新技術・新材料応用研究会(地域企業 25 社 28 名)

鉄鋼系新材料、成形関連の新技術の紹介を目的に、特徴的技術を有した企業の技術者を招き、全体で 5 回の研究会を行った。

また、オープンセミナーとして、新しい設計手法である公差解析の導入講座を実施し、46 名の受講、及び各種材料の基本的溶接技術の講習会を行い、58 名が受講した。

専門家による企業指導、コーディネート

機械設計やプレス加工などの講座に参加した企業からの技術的相談について、各担当講師から 8 回の個別技術指導を行った。

また、他に 91 件の技術相談も行った。

知的所有権相談事業

ジーバック国際特許事務所 所長・弁理士である清水善廣氏を相談員に招聘し、特許、実用新案、商標、意匠などの知的所有権について合計 38 回(21 社)の相談を行った。それらの相談をきっかけに、特許 1 件、商標 1 件、実用新案 1 件が出願・登録済みとなった。

また、インターネットを使って自社で先行出願調査を行うための IPDL 講習会も実施した。

機械設備利用状況

設備名称	19 年度	18 年度
高速度デジタルビデオカメラ	2	
デジタルマイクロスコープ	17	
立型マシニングセンタ	8	21
万能塑性加工試験機	7	0
Dr. HIP装置	50	15
真空熱処理装置	7	3
3次元デジタイジング装置	8	18
3次元CADシステム	1	7
FEM解析システム	5	6
汎用旋盤	0	0
電気炉	0	0
切れ味試験機(包丁・鋏)	0	1
合計	105	71

(3) 産学共同開発事業(収入決算額 3,725,000 円 支出決算額 3,604,960 円)

非鉄材料の技術研究会(指導者 1 名、地域企業 31 社 33 名)

指導者に長岡技術科学大学 鎌土重晴教授を迎え、チタンやマグネシウム、アルミニウムなど、非鉄金属の特性や動向に関する技術講演の 4 回を含め全体で 7 回の研究会を実施し、材料等の各種最新情報の提供を行った。

高合金材料に関する研究会(指導者 1 名、地域企業 13 社 14 名)

指導者に関西大学 北嶋弘一教授を迎え、難加工材料である高合金材料の機械加工の周辺技術について 5 回の講演会を実施した。また、各種表面処理を行った工具の切削性能を試験し、高合金加工のための適性条件探索の研究を行った。

接合技術に関する研究会(指導者 1 名、地域企業 27 社 31 名)

指導者に長岡工業高等専門学校 宮下幸雄准教授を迎え、最近注目されている機械的接合技術の知識を得るため、5 回の研究会を実施した。

各研究会では装置のデモンストレーションを積極的に行った。

4. デザイン企画事業

1. 収支決算額

○収入決算額: 31,030,000 円 (予算額: 30,851,000 円)
 (国補助金 1,055,000 円、関東圏産業活性化センター負担金 1,200,000 円、
 市負担金 26,556,000 円、研修受講料 719,000 円、繰越金 1,500,000 円)
 支出決算額: 23,399,614 円 (予算額: 30,851,000 円)

2. 事業の成果

- ・ 4回(11件)の商品開発の個別相談会と、自社テーマを再構築する5回連続の集合相談会(10名参加)を開催した。
- ・ 商品開発研修では、2回の研修コースに対し、36名が参加した。また、デザインギャラリーでは地域ブランドの先行事例やパッケージデザインなど、より範囲を広げた展示とイベントを3回開催した。
- ・ 新商品開発プロジェクト推進事業では、5テーマに対し、個別に専門家の招聘、モニタリングの実施、販路開拓など、進捗状況に応じ提案企業とセンタースタッフが一体となった開発を推進した。
- ・ 販路開拓支援事業では、2回の展示会出展(1件新規)により、150件の引き合い(成約9件)があった。また、首都圏での単独開催(販売45点)を行うなど、新規販路の獲得と地域商品のPRに努めた。

3. 実施事業

(1) デザイン支援事業

(収入決算額 18,534,000 円、支出決算額 14,549,736 円)

商品開発研修の開催

『実践的!!商品開発研修』

・ 内容: ターゲットを明確にした商品開発手法を学ぶため、「生活要素・製品要素・流通要素」を明確にしたアイデア発想法を中心に学ぶ研修。

・ 実施期間: [前期]平成19年6月13日～8月9日(全6回)

[後期]平成20年1月16日～3月12日(全6回)

・ 参加者: 前期18名(定員18名) 後期18名(定員18名)

・ 講師: (株)クルー 代表取締役 馬場了氏

商品企画・開発個別相談会の実施

1) 外部アドバイザーによる相談会

・ 実施期間: 平成19年6月27日～平成20年3月11日(計4回)

・ アドバイザー: (株)クルー 代表取締役 馬場了氏

・ 相談件数: 11件

2) 『商品ドクター「分析」「診断」「再生」』(集合相談会)

・ 内容: 自社商品のコンセプトを分析し、ターゲットとするユーザーニーズにマッチするよう再構築する、研修要素を取り入れた相談会

・ 実施期間: 平成19年9月27日～11月15日(全5回)

・ 参加者: 5社10名

・ 講師: (株)クルー 代表取締役 馬場了氏

デザイナーズバンクの活用

県内並びに当地域に関連の深いデザイナーを人材バンクとして登録し、地域企業からの商品開発相談やデザイン相談での活用を図った。

デザインギャラリー・イベントの開催

1) 企画展示・イベント

名称 / 会期 / 内容	来場者数
<ul style="list-style-type: none"> ・ 『おいしいキッチンプロジェクト展』 ・ 平成19年6月29日～7月10日 ・ 「おいしくご飯を食べよう」をテーマに作られた、料理や食事が楽しくできるアイテム40点を展示 	834名
<ul style="list-style-type: none"> ・ トークイベント ・ 『地域資源を活用したブランディング』 ・ 『ブランド開発とデザインディレクション』 ・ 平成19年6月29日 ・ コーディネーター: (株)リンクコーポレーション 二口誠一郎氏 ・ パネリスト: (有)サカイデザインアソシエイツ 酒井俊彦氏 荒川レース工業(株) 代表取締役 荒川純治氏 福井市商工労働部 小倉芳樹氏 	50名
<ul style="list-style-type: none"> ・ 『Design For Kids 展』 ・ 平成19年8月23日～9月5日 ・ 子どもの安全安心の向上、健やかな成長発達に役立つ、「子ども目線」「子ども基準」をもってデザインされたアイテム約100点を展示 	806名
<ul style="list-style-type: none"> ・ 『日本パッケージデザイン大賞2007展 in 新潟』 ・ 平成19年11月30日～12月13日 ・ (社)日本パッケージデザイン協会が主催する日本パッケージデザイン大賞2007において入賞及び入選した作品・パネルを展示。作品数156点 パネル36枚 	890名

4. デザイン企画事業

<ul style="list-style-type: none"> ・ トークイベント 『パッケージデザインと商品デザインの世界』 ・ 平成 19 年 11 月 30 日 ・ 講師 サントリー(株) クリエイティブデザイナー 藤田 隆 氏 	50 名
<ul style="list-style-type: none"> ・ 常設展示「Gマーク 2006 & 2007 受賞商品」の展示 (3F デザインギャラリー) 	
2) 貸し出しギャラリー	
名称 / 会期 / 内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 『空のデザイン』/平成 19 年 7 月 28 日～29 日/飛行機模型の展示 ・ 『アミューゼ作品発表展』/平成 19 年 9 月 14～16 日/写真の展示 ・ 『キャンフオトクラブ十周年写真展』/平成 19 年 9 月 22 日～24 日/写真の展示 ・ 『山田昌男写真技法講座作品展』/平成 19 年 11 月 16 日～18 日/写真の展示 ・ 『県立三条テクノスクール修了作品展』/平成 20 年 2 月 8 日～2 月 12 日 三条テクノスクール(工業デザイン科・メカトロニクス科・生産システム科)の卒業制作課題作品を展示 ・ 『ジャパン・ツバメカトラリー・ハウスウェアデザインコンクール受賞作品展』 平成 19 年度ジャパン・ツバメカトラリー・ハウスウェアデザインコンクール受賞作品及び 17 年度・18 年度燕市物産デザインコンクール受賞作品を展示 	
<p>Gマーク(グッドデザイン賞)商品支援</p> <p>1) グッドデザイン賞 2007 新潟商品展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内 容:2007 年度グッドデザイン賞受賞商品(6 社 9 点)の展示し、地域のデザイン力をPRすると共に、過去の受賞商品(63 点)の展示・販売を行い、販路拡大、販売推進を図った。 ・ 開 期:平成 19 年 11 月 7 日～11 月 9 日 ・ 会 場:日本橋新潟館 NICO プラザ #2 ・ 来場者数:576 人 ・ 販売点数:45点(販売額:143,400円) <p>2) 出願支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 搬出入代行申し込み件数:6社、12件 ・ 2006年県内受賞数 8件(6社、うち地域企業 5社) ・ ロングライフデザイン賞 1件(1社、うち地域企業 1社) 	

<p>デザイン団体・産地間交流支援</p> <p>1) 県央地域デザイン団体活動支援(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つばめデザイン研究会事務局 ・ 三条デザイン研究会事務局 <p>2) 産地企業間連携事業の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ「地域産業集積地の素材・技術・人をデザインでつなぐ商品化・事業化事業」 ・ 実施期間:平成 19 年 5 月 31 日～平成 20 年 3 月 5 日 ・ 事業推進会議:4 回 ・ 参 加:16 名 ・ 産地交流会の開催:5 回 		
日 時	テーマ/会 場	参加者
H19.8.24	「G マーク 2008 の製品開発動向」 東京ビッグサイト(東京)	29 名
H19.10.26	「産地の素材と技術の交流」 山形県産業創造センター(山形)	46 名
H19.10.11～13	「山形エクセレントデザイン展」 新宿パークタワー(東京 OZONE)	約 800 名
H19.11.22	「新潟 DNA フォーラム」 県央地場産センター	約 100 名
H20.2.28	「地域資源活用セミナー」 県央地場産センター	48 名
<p>(2) 新商品開発プロジェクト推進事業</p> <p>(収入決算額 6,076,000 円、支出決算額 3,013,436 円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内 容:「健康・安全・安心・便利」をキーワードとする新商品開発を進めるため、地域企業より開発テーマを公募し、提案企業・専門家・地場産センター職員が一緒になり、事業化を目的に開発を進めた。 ・ 開発テーマ:(5 テーマ) <ul style="list-style-type: none"> 「介護・福祉施設向け食事配膳用ワゴンの改良開発」(三条市) 「安全で分別可能な三徳缶切りの開発」(三条市) 「ユニバーサルステップ(脚立)の開発」(燕市) 「酸化チタン光触媒による脱臭器の開発」(燕市) 「バラ用剪定鋏の改良」(三条市) 		

4. デザイン企画事業

(3) 販路開拓支援事業

(収入決算額 6,420,000 円、支出決算額 5,836,442 円)

インテリアライフスタイル展への出展(新規)

・内容: フランクフルトで開催されている世界最大級の生活用品・インテリア関連国際見本市「ambiente」の東京版である、ライフスタイル提案型見本市「インテリアライフスタイル 2007」に出展し、当センターが昨年度、地域企業と一緒に開発に携わった新商品を対象に、新規販路開拓を目指した。

・会期: 平成 19 年 6 月 6 日～6 月 8 日

・会場: 東京ビッグサイト

・来場者数: 26,332 名

・出展数: 11 点 (地域企業 7 社)

・引合い相談件数: 45 件 (目標 10 件)

国際福祉機器展への出展(4 回目)

・内容: 福祉機器関連の国内最大の情報発信・総合展示会である、「第 34 回国際福祉機器展 H.C.R.2007」に出展し、地域企業で製造する介護・福祉関連商品の新規販売先開拓により、引合い商談件数の増加を目指した。

・会期: 平成 19 年 10 月 3 日～5 日

・会場: 東京ビッグサイト

・来場者数: 128,178 名

・出展数: 6 点 (地域企業 4 社)

・引合い相談件数: 105 件 (目標 60 件)

・成約件数: 9 件

食堂事業(特別会計)

1. 収支決算額

○収入決算額: 76,839,291 円 (予算額: 83,155,000 円)

(事業収入 65,907,982 円、雑収入 2,087,173 円、繰越金 8,844,136 円)

支出決算額: 63,615,379 円 (予算額: 82,655,000 円)

2. 事業の成果

・昨年度と比較して事業全体売上は約 1,000 万円の増加となった。その内訳として、多目的ホールでの大規模パーティーが 4 件開催され、利用者数約 1,800 名、売上金額で約 720 万円の増加による影響が大きい。

・また、館内利用者への昼食弁当などの会場出前は、利用者数約 3,800 名、売上金額で約 310 万円の減少となった。

・一方、レストラン内の貸切りパーティー利用者数約 1,500 人、売上金額で約 400 万円の増加となった。

・これらの結果は、事業計画にある地産地消による安全で安心なメニューづくりに取り組んだことによる成果と考えている。

3. 実施事業

レストラン売上金額の推移:

(単位: 円)

	上半期	下半期	合計
19 年度	36,250,081	29,657,901	65,907,982
18 年度	27,544,973	28,299,237	55,844,210